

第11回 「市民と議員の懇談会」

報 告 書

H29.2.7・9(市内5会場)



奥州市議会市政調査会

目 次

	ページ
1 実施要領	1～3
2 開催状況	4
3 各班報告書	
第1班報告・概要	5～10
第2班報告・概要	11～17
第3班報告・概要	18～20
第4班報告・概要	21～28
第5班報告・概要	29～39
4 写真	40～42
5 開催チラシ	43～44

平成28年度市民と議員の懇談会実施要領

1 趣 旨

市民との多様な意見交換の場、議会が持つ情報の発信の場として、市民懇談会を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見・提言・批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 実施主体 奥州市議会市政調査会

3 内 容

【第11回 市民と議員の懇談会】

(1) 報告事項

①12月議会の報告

(2) 懇談内容

①テーマ：「奥州市の医療のあり方について」

サブテーマ：「政務活動費の増額について」

②議会に対する意見要望、地域における諸課題等

4 開催月日、会場

月 日	開会時間	班	会 場
2月7日 (火)	14:00 ～ 16:00	1	江刺総合支所 1 階 多目的ホール
		2	前沢総合支所 4 階 401大会議室
		3	胆沢総合支所 3 階 大会議室
2月9日 (木)		4	水沢地区センター 第1・2会議室
		5	衣川保健福祉センター 多目的ホール

5 班編成

別紙のとおり

6 周知方法

- (1) 市議会だより、ホームページに掲載し周知する。
- (2) 地区センター及び地区振興会長を通じて、地区内各種団体に呼びかけてもらう。
- (3) 各議員は参加の声をけを行う。

7 今後の進め方

- (1) 平成29年1月31日（火）午前10時から市政調査会を開催
 - ① 当日の進め方（12月定例会の報告、テーマについて話題提起）
 - ② 班ごとの打合せ（役割分担確定）
[班長、進行係、説明係、記録係、受付係]
- (2) 「市民と議員の懇談会」開催 [2/7, 9]
- (3) 班ごとの取りまとめ [期限 2/14（火）]
 - ・各班は報告書（懇談会概要）を作成し、議会事務局へ提出
- (4) 「市民と議員の懇談会」報告会を平成29年2月16日（木）に開催。

平成28年度「市民と議員の懇談会」班構成

①常任委員会：総務 7人、教育厚生 7人、産業経済 6人、建設環境 6人

②出身区：水沢区9人、江刺区6人、前沢区4人、胆沢区6人、衣川区1人

③会派：奥和会9人、市民クラブ5人、日本共産党4人、新世会4人、公明党2人、無会派2人

【常任委員会、（出身区）、（会派）】

1班（江刺区担当）	2班（前沢区担当）	3班（胆沢区担当）	4班（水沢区担当）	5班（衣川区担当）
教育厚生（江刺）（共産） 千葉 敦	建設環境（江刺）（市民） 廣野 富男	教育厚生（水沢）（新世） 菊池 利美	教育厚生（前沢）（奥和） 鈴木 雅彦	産業経済（前沢）（新世） 菅原 圭子
建設環境（前沢）（公明） 飯坂 一也	産業経済（水沢）（奥和） 千葉 正文	産業経済（江刺）（奥和） 及川 佐	総務（水沢）（新世） 佐藤 洋	教育厚生（水沢）（奥和） 菅原 由和
総務（胆沢）（奥和） 小野寺 隆夫	総務（胆沢）（新世） 加藤 清	教育厚生（胆沢）（市民） 高橋 政一	建設環境（水沢）（奥和） 中澤 俊明	総務（江刺）（市民） 佐藤 郁夫
産業経済（水沢）（市民） 千葉 悟郎	教育厚生（江刺）（奥和） 中西 秀俊	総務（水沢）（公明） 阿部 加代子	総務（胆沢）（共産） 今野 裕文	建設環境（胆沢）（奥和） 藤田 慶則
総務（胆沢）（奥和） 渡辺 忠	建設環境（水沢）（共産） 及川 善男	産業経済（衣川）（共産） 菅原 明	産業経済（江刺）（市民） 佐藤 邦夫	教育厚生（水沢）（無） 内田 和良
		建設環境（前沢）（無） 小野寺 重		
事務局（高橋上席主任）	事務局（菊池局長）	事務局（家子次長）	事務局（菊池係長）	事務局（吉田係長）

市民と議員の懇談会開催状況

年月日	事業名	備考		
第11回「市民と議員の懇談会」〈5会場〉 テーマ：奥州市の医療のあり方について 政務活動費の増額について		男性	女性	計
2月7日（火） 14:00～16:00	江刺総合支所 1階 多目的ホール	47	2	49
	前沢総合支所 4階 401 大会議室	17	1	18
	胆沢総合支所 3階 大会議室	19	0	19
2月9日（木） 14:00～16:00	水沢地区センター 第1・2 会議室	31	4	35
	衣川保健福祉センター 多目的ホール	13	3	16
合 計		127	10	137
第10回（H28. 2） 5 会場		267	26	293
第9回（H27. 11） 5 会場 （消防団各方面隊対象）		146	0	146
第8回（H27. 11） 10 会場		132	9	141
第7回（H26. 11） 20 会場		258	31	289
第6回（H25. 11） 5 会場 （女性団体対象）		0	94	94
第5回（H25. 6） 10 会場		136	7	143
第4回（H24. 7～8） 30 会場		399	55	454
第3回（H24. 2） 10 会場		188	18	206
第2回（H23. 7） 10 会場		167	18	185
第1回（H22. 10～11） 10 会場		116	18	134

第 11 回「市民と議員の懇談会」 第 1 班報告書

1 開催月日	平成 29 年 2 月 7 日 (火) 午後 2 時 00 分 から 午後 4 時 11 分
2 会場	江刺総合支所 1 階 多目的ホール
3 参加者数	49 名 (内訳 男性 45 名 女性 2 名 議員・職員 2 名)
4 出席議員	班長小野寺 隆 夫.....議員 進行係千 葉 悟 郎.....議員 説明係千 葉 敦.....議員 飯 坂 一 也.....議員 記録係渡 辺 忠.....議員 受付係千 葉 敦.....議員(説明係兼務).....
5 欠席議員	なし

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

- ・平日日中の開催だったが、多くの方に参加していただきよかった。
- ・子育て世代等が参加しやすいような時間（平日日中ではなく）に開催するべきとの意見があり、今後はテーマと併せ開催時間の配慮等もするべきと感じた（開催時期にもよると思うが。）。
- ・懇談会で発言する方が限られているため、参加者にアンケート用紙を配って、開催内容や発言出来なかった方の意見、要望等も聞き取れるようにした方がいいと感じた。

.....

.....

.....

.....

.....

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成 29 年2月7日(火) 会場:江刺総合支所多目的ホール No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	【奥州市の医療のあり方について】 新病院建設と聞くが、東部である江刺でも医療は大きい問題。医師も少なくなっており、診療科目によっては診療日も少なく弱体化現状がある。新市立病院建設は 33 年度開設とあるが、競馬、土地開発公社、市立病院の赤字など、借金も一人 100 万円と聞く。新たな負債を抱えるのは反対。もっと医療問題を検討してから話では。	水沢病院でもかなりの救急患者を受け入れ事実もある。賛成反対含めてみなさんの意見を。1 月からは検討に入っているという説明もある。市民も新聞報道等で情報は入っていると思うが、率直な意見を聞きながら精査し議会でも取り上げていきたい。	
2	11 月 18 日の全員協議会ではどのようなになったのか教えてほしい。 合併の時、旧水沢市は持ち込み基金が少なく借金が多かった。借金が増えるのはいかなものか。水沢病院は確かに古い。震災の時の被害は水道だけだったとのことなので、それらを修繕し数年みていった方がいいと思う。しっかりと検討すべき。	全員協議会は物申すところではなく、事前に説明を受けたところ。	
3	病院建設問題は唐突に出た話のような気がする。計画の補正予算可決したようだが、総合計画審議会でも議論されたが方針等が不明確であった。病院長だけの話だけで病院管理者も出席していなかったようだ。病院は必要だとは思いますが、なぜそんなに急ぐのか不審。急ぐことよりも市の医療をどう考えているのか、説明、議論が必要と思う。	唐突の話ではなく、市立病院・診療所医療改革プランの中に新市立病院建設の検討を行うということは記載がある。以前特別委員会を設置して奥州市の医療についても調査し、その時も病院長から老朽化が著しく建設したいという話は伺っている。 水沢病院は老朽化しており危険度も高い。調査費として補正予算があげられ議論され可決した。病院長は話されたようだが、議会でも、まだ病院建設は議論していないのが現状。検討してもらって、構想を示してほしいというのが、質問者の言いたかったところかと。私たちも当局から示されていないのが現状。	
4	市内に県立、市立病院が存在している。建設と決まれば、地域性（場所）の問題でもめる。県や市はどのような方向性で考えているのか。久慈では県立と市立があったが、一つにして市立病院がなくなった。進め方がおかしい。県立と市立の話し合いしたのか。		
5	今審議されている総合計画（基本構想）では建設というよりも、平成 33 年度に開院すると示されており、具体的に年数まで出ている。議会で議論したのか。		

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成 29 年2月7日(火) 会場:江刺総合支所多目的ホール No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
6	水沢病院の建て替えは、北上川西側の話としか受け止め方しかできなかった。江刺区では医療の充実を県や市に訴えてきた。緊急医療の 80%以上が胆沢病院や中部病院に運ばれている現実である。もう少し市全体の医療を現実はどうあるべきか検討してから建て替える考えで進んでもらいたい。 水沢地域が個人病院一番多く、公立病院も 3 つもある。医療の充実が市民平等に与えられているのか疑問。市立と県立の合併はあるのか。合併時の水沢病院の債務が 16 億円あるし、毎年税金の中から繰出しされている。さらに 100 億円程の借金をするのか。人口減少していく中で不安が大きい。大いに検討していい方向に。		
7	救急搬送の件で、今回資料に示された数字は受け入れできた数字だと思う。救急車を依頼しても江刺病院で対応出来なく、ほかに搬送されている。受入出来なかったデータ等も参考にしてほしい。	こちらでも、資料を作りたいと思う。	
8	医療にかかるのは自己選定。病院を公費をかけてつくるのがいいとは限らない。病院を建てるのが先行しては不安をつくるだけ。進め方の工夫がなっていない。		
9	水沢病院の建て替えと話をされたが、建て替えではない。建設場所が水沢とは決まっていらないのにそういう発言はやめてもらいたい。水沢だけが市でない。前沢・衣川等中心に一体となった考えで進めるべき。	胆江全体の医療で考える。水沢病院は老朽化している。今後気を付けていきたい。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成 29 年2月7日(火) 会場:江刺総合支所多目的ホール No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
10	【政務活動費の増額について】 政務活動費の増額とあるが、奥州市ではないが不正もあったりして市民には不信感がある。今の議会活動を見ていて、チェック機能はされているが政策論争・立案がほとんどない。それで増額を求めることは理解できない。政務活動費はどういう活動をしたいか出した上で、請求するとすべき。勉強してかかった経費分のみの支給とすれば、透明性もあり理解できる。	政策提案出来ていないのは全くそのとおりで、昨日、立法機能が来ていないことも含め、研修会を行った。市民に納得できる形ということで、議会改革検討委員会でも、さまざまな意見が出て議論もしている。領収書も含めたホームページ公開も検討している。理解得られるような形を作っていきたい。	
11	この時期の政務活動費の増額はおかしい。若い世代が立候補できる報酬にするべきで、政務活動費の増額には疑問がある。議員定数を2人削減し、その分を報酬に充てるという工夫も一つある。	この時期の増額については、議会改革検討委員会でも複数の議員から意見があった。報酬についても検討を始めつつある。	
12	議員はその職務に専念することが当たり前である。政務活動費の支出状況を見ると、資料購入費が少ない人が多い。勉強していない証拠である。何が足りないのか教えてほしい。		
13	奥州市は県内市で財政的に一番最下位である。市の財政が大変な時に政務活動費を上げるのは時期尚早、財政的によくなってからでいいと思う。		
14	【12月議会報告、議会に対する意見・要望等】 タブレット端末機の導入、ペーパーレス化の目的で360万円ほどの経費削減の効果が期待されるとあるが、印刷して読むという傾向があったりするので、早く慣れてペーパーレス効果が期待以上に出るようにしてほしい。	多くの議員は使えるようになってきている。徐々に浸透していけばいいと思う。導入によりすべてペーパーをなくすとまではいかないが、早く導入した方がいいところを活かせると思う。紙の削減も大きなテーマであるので、バランス感覚を持った進め方を考えている。	
15	平日日中の開催は、子育て世代については参加できない、いかがなものか。考えてほしい。	おっしゃるとおりだと思う。これまでも様々な工夫をしながらやってきた。テーマの設定も絞り、時間帯も設定するやり方も、今後検討していきたい。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成 29 年2月7日(火) 会場:江刺総合支所多目的ホール No.4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
16	議員は自分で進んで調査をしていなければならない、そういうことがなされていない議会だと先ほどの答弁で感じた。 合併 10 年経って、金ケ崎と協議したことがあるか。胆江は一つ。金ケ崎の所得が県内で一番だ。		
17	議員を鍛えてほしいとの話があった。自分自身が勉強するもので、鍛えてもらいたいという甘えはいかなものか。自ら掲げた公約を市職員と対等にやれる知識を、意欲を持って立候補し今の地位があると思うので、ますますの精進を期待する。	議員と議論するのも必要と思っている。議会・市政に対して厳しく叱責などしていただければと思っている。	
18	100 条委員会を設置した経緯はなにか。	万年の森のエネルギー問題でいろいろと課題、進め方が問題として発覚となった。臨時議会で 9,800 万円の処理費が計上されたが、市の負担について議会として理解されず議案を取り下げ、その後折半となり、議会にもかけられなかったため、委員会設置となった。	
19	地域自治区について、賛成、反対（廃止）があるが、最終的にどのようなになるのか。	この問題は、現在、詰めの段階に入ってきた。早く決断を出して、どちらに決まろうとその取組みに入る時期で、それが 3 月。これからの未来を考えて意見が 2 つに分かれている。両論の話を聞きながら結ぶべきと考えている。	
20	市長は廃止とのことだが、多くの予算がかかるのだが、市長はなぜ固執するのか。私はどちらでもいいが、合併時に区になったのだから、その範囲はきちっとすべきと思うので、区を残すべきと考えである。		
21	最近の奥州市を見ると、水沢だけがよくなっているような気がする。5 地区が同じように繁栄するように進めてほしい。		
22	もっと I L C 誘致に力を入れてほしい。来るか来ないかで繁栄するかになる。		

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成 29 年2月7日(火) 会場:江刺総合支所多目的ホール No.5

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
23	合併した時 10 年後には区をなくすと決めている。なぜ今反対しているのか、考え方をお聞きしたい。 市長は区を廃止して何が大変なのか、区を残して何が問題なのか明確にしてほしい。ないよりあった方がいいと思うが。	合併特例債が 10 年間で、それに合わせたものだった。次の人達が議論することになっていたので、今、議論している。 この間、地域協議会や各団体の方々などと話をしてきた。区がなくなることと、総合支所がなくなことは別問題。市長は支所は今後も残すこと明言している。区がなくなって変わることは住所表示が変わること。区が残ること、地方自治法で設置するとなれば、地域協議会は必要である。それ以外の生活への影響は、時のトップの政策によること、議員の考え方によるところが大きいと思う。区のありなしでの大きな変化はないと私は思う。	
24	12 月議会の議会だよりを見て、議会の活性化になるということで改革 24 項目あるが、24 項目は何か。 「議会改革」、「市民に開かれた…」と掲げた以上、市民から意見を取らないと、内向きな話で広がらない。議会改革ほとんどの市民が関心を持っていない。オブザーバーでもいいから市民を入れるべき。市では公募で市民参加をしている、それが開かれてるということ。議会ではそうではない。その辺ももう少し考えるべき。	議会改革の項目については、分かるようにしていかなければならないと思う。どのようにして市民の声を聞くかということで、議会広報編集委員会が一つの役割を担うということで、公聴も検討している。ご意見はもっともなこと。力を入れてやっていきたい。様々な情報発信も検討しており、具体のどこまで検討していく必要性を今強く感じた。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」 第2班報告書

1 開催月日	平成 29 年 2 月 7 日（火） 午後 2 時 00 分 から 午後 4 時 20 分
2 会場	前沢総合支所 4 階 401 大会議室
3 参加者数	18 名 (内訳 男性 17 名 女性 1 名 議員・職員 0 名)
4 出席議員	班長 及川 善男議員 進行係 中西 秀俊議員 説明係 千葉 正文議員 加藤 清 議員 記録係 廣野 富男議員 受付係 菊池 敏彦 事務局長
5 欠席議員	なし

6 報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7 反省点、次回の課題等

- (1) 行政に関心の高い地区だけに多くの出席者を見込んでいたが、総勢 18 名と、今回は出席者が少なかった。
- (2) 新市立病院建設問題について
 - ①当地域の医療の在り方について議会でも十分議論されていない。
 - ②建設ありきでなく、どんな医療体制をつくるかをまず議論すべき。
 - ③建設費 100 億円の財源見通し、将来に財政負担を残すのではない
か等、市財政を心配する意見
 - ④当地域に不足する医療（産婦人科、小児科、脳外科）を確保して
ほしい等の意見が出された。
- (3) 政務活動費の増額について
 - ①見識不足の議員もいる。議員はもっと勉強すべきではないか。
 - ②議員がもっと働いてもらうために、勉強する費用としての政務活
動費増額には反対しない、上げておかまわない。
- (4) その他 万年の森 100 条委員会の調査について、時間と公費を
かけて調査した成果があったか疑問だ。通常の特別委員会でもよ
かったのではないかと等の意見があった。

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第 2 班 平成 29 年 2 月 7 日(火) 会場 前沢総合支所 401 大会議室

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	・現水沢病院の老朽化は認識している。胆江管内での医療完結を公立病院に求む市民も多い。規模、移転新築、市単独で 100 億円かけ、H33 年開院と公表。合併特例債をまるまる注ぎ込むのか。他の事業を圧迫させることはいかなものか。 1) 建設費 100 億円の財源捻出は？ 2) 国・県のガイドラインに市長・病院長は近づける気持ちはあるのか。 3) コンサルへの委託は課題や構想まで丸投げでやっているのか。 4) 病院統合に病院長はその気がないし、市長は右倣いになっているようだが、視察で別のものを感じてきたのか。	・11/18 の全協で始めて提示されたが財源の見通しの提示は受けていないので回答できる状況ない。合特追加分の 129 億円まるまる使う予定ではない。3 月議会で提出される見通し。 ・公立病院改革ガイドラインについて議会で今後、議論されると思う。山形県の日本海病院と酒田病院の統合事例を視察したが、当地域での実現の可能性に疑問を感じてきた。当地域にあった公立病院にすべき。 ・コンサル委託に対し議会では反対はなかった。丸投げとの指摘があってもやむを得ない。 ・教育厚生常任委員会における当局説明では、プロポーザル方式で新病院基本構想・基本計画策定の支援業務を委託予定。内容は基礎調査、新病院基本方針・部門運営計画・施設整備計画・事業計画などを 2,100 万円で委託すると聞いている。 ・両氏の考えよりも現実には厳しい状況。統合には医師の考えもあり相当時間がかかる。議会がもっと勉強しないと対応できない。単純に病院長間の話で決めるものではないと感じてきた。	
2	・地域医療のあり方について 12 月議会だよりを見る限り議会で議論されていない。大事なことなので市民にアピールしてほしい。 県議会だより 160 号に胆江地域医療の現状や医療の強化、産婦人科、小児科不足が取りざたされていた。人口減少が続く中、出産する人のサポート体制が一番遅れている。議会で十分議論をし、市民に投げかけてほしい。	・ご指摘の通り。1 月から準備室を中心に本格的議論がされる。望ましい病院のあり方を議論し市民にも示して行きたい。	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
3	・新市立病院コンサル委託のこと。奥州市を含めた地域医療というより、水沢病院建替のための調査コンサルとを感じる。当地域で不足しているのは何かを解決することが大事。その中で胆沢病院の充実を市長に指摘してきた。脳神経外科の手術が出来ず他所の病院に行く状況。産婦人科医の確保に難しい難しいと言っているだけでは何も解決しない。県では来年度予算に産科医確保経費に 1/2 助成すると新聞で報じていた。県も産科不足、医療体制の欠落など少子化対策上一番大切な問題と捉えている。早めに県に対し運動をしていたら県の支援を得たのでは。胆病・水病それぞれの役割分担を明確にした上で建設すべき。地域の医療、安全を確保してほしい。これまで病院を補強せず 11 年間放置し、今になって危ないから新病院必要といわれても困る。即座に対応すべきだった。一ノ関、花巻地方には大きな施設が揃っていてうらやましい。県議も頑張っているので市議会も行政と一体となって対応してほしい。折角つくるなら市民に良かったと言われる病院にしてほしい。		
4	・以前から産婦人科問題を指摘してきた。産婦人科が当地域から抜けている。無いのは当市だけ。建てるなら産婦人科に特化してでも、県立病院の隣にでも建設し常に連携できるようにすべき。産科が地元になく盛岡まで言って結局流してしまった人もあった。妊婦はいつ何が起きるか分からないので連携できるところに建設をしてほしい。		
5	・かつて水病の赤字化が問題になり、平成 19 年に中央から派遣された経営アドバイザー八重樫氏の講評で、水病が存続していることが不思議だと述べたことが印象的だった。その後、負債分を市の繰り入れでほぼ解	・県医療局は県立病院の経営管理。各医療圏の問題・計画・予算関係は保健所が管轄。県は計画的なものは出すが進めるには殆ど県の力にならない。決まるのは各病院の力関係。よく連携といわれるが、高度医療は	

2 6	消。今回、建設に合併特例債を使用し、起債の 25%、25 億円交付税バックというが、大きな借金を抱えることとなり過去の反省が生かされていない。水病がなかったらという考え方も必要では。県内の医療機関は盛岡に次いで胆江地方は 2 番目に多い。一関は市立がなく県立病院を作ってもらった経緯がある。北上、花巻もそう。水病があったことが市民にとって良かったのか、なかったら胆沢病院はもっと大きくなったのでは。建てるのなら医療圏内の医療の質が 2、3 段と水準が上がるような検討をしてほしい。単に古いから新しくするという考え方を持たないでほしい。 政務調査費アップ賛成。後払い制。以前にはあり得なかった訴訟をはじめ病院を含め様々な問題が起きている。これら問題を未然に防ぐためにも、議員にはもっと勉強してほしい。 ・よそから見て奥州市は揉めている市。かつて政争のまちだった。自治区問題で未だ揉めている。これでは駄目。議会として早く結論を出してほしい。早期解決が人や物が流れてくると思う。 ・総合計画審議委員の一人。今回の政務活動費問題は市民に対し市議会の存在意義を問いかけていていると同じこと。時々議員の中に議会の果たす役割を分かっている方がいる。市長が健全なら市議会の存在が薄く問われない。が合併後、会計処理による住民訴訟 2 件起きている。100 条委員会も根っこはまったく同じ。本来、市自治基本条例に則った市政運営がされれば情報も隠されず、議会も気づかれ、これら問題は未然に防げたはず。ところが議会が後から知った後では情報を引き出そうとしても殆どは出てこない。本来条例に従うのであれば殆ど情報は出ていないとおかしい	そっち、回復期はこっちなどと納得する事項など成立しない。医師には強い個性と独立した考え方があって、胆沢病院がどうのこうのなどと分担は無理。分担が決まるのは勝ち負けで決まると、よその町にいつて理解できた。 病院の連携は非常に難しい。岩手県がもっと力を持って各病院間の調整をしそれぞれの役割を決めてほしい。 掛川市と隣の袋井市は 2 市の境に、それぞれあった病院を統合し大きな病院（600～1000 床）を建てた。最新の医療器械と新しい医師や看護婦が多く、よその地域からも多く来ている状況と伺った。 ご意見はそのとおり。どっちに決まるか議員として最善をつくしたい。	
-------------------	---	--	--

7	い。後でトラブルを防ごうとしても出さない。これでは一般市民は手が届かないし情報が少ない。一体議員は何をしているのかと政務調査費増額に好意的でない方もいる。しかし、私は議員の皆さんに、もっと優秀な議員に投票してもっと高い給料をあげて、何億にも及ぶような奥州市の不正な行政支出と思われるような疑いのある段階で、間違いを食い止めることを議員がやらないで誰がやるんですか？地方の二代表制は、例え誤った首長を選んだとしても議会が食い止め是正することを期待している。議会が機能していれば訴訟や 100 条委員会は起きなかった。首長一人の問題でなく議会も痛切に反省してほしい。 南地区振興会の代表らが 12 月議会に新市立病院建設に関する調査特別委員会の設置を要望したが、議会では情報が出てから議論するとはいつているが大きな間違い。H19 年検討委員会を立上げ、H21 年医療改革プランに反映。この時建設を検討としている。H26 奥州市立病院・診療所改革プランが出来水病の件も触れている。昨年 11 月 18 日の全協で出された内容とまったく同じものでなら変っていない。3 月の総合計画の審議で議会はどうやって答えられるのか。H33 開院は分科会としてははずした。議会は議論し議論するためもっと勉強をしてほしい。そのため調査活動に政務調査費 10 万必要なら堂々といっしてほしい。やり方を間違えると毎年 7 億 3 0 0 0 万繰出してもプラマイゼロの状況。今後人口減少する中、果たして経営できるか。胆沢病院の経営も危ぶまれる。是非研究してほしい。 ・政務調査費 17 万円返還している。ゼロになるよう活動してほしい。返還のない活動を。もっと活動してほしい。足りないのなら増額やむなし。 ・不正や指摘されて返還したのか。	・政務調査費の返還、不正や問題を指摘されたものではない。それぞれの活動スタイルがある。 ・先ほどのご意見、肝に銘じて活動したい。 市立病院建設に当たり周産期、小児科、産婦人科、脳外科の必要性は市民と共有している。これは市と県との協議で解決すべき問題。福島県須賀川では、公立岩瀬病院に署名運動により周産期診療棟を今年 4 月開院すべく建設がされている。産婦人科は外科、麻酔科、小児科がないと来ない。欠けている医療をどうするか、そういう視点で県と協議すべき問題。 ・市民の負託に応えられる様、質の高い活動するためにも調査費は上げる必要がある。病院問題は市民と考えるべき。須賀川市の商工会議所、団体等と署名活動をし誘致した事例を参考としていきたい。	
---	---	---	--

2	・ 2月5日の岩手日日新聞日曜論壇に「県民的議論を望む」と題した佐藤邦夫議員のすばらしい投稿があった。日常、議員と話し合う機会がなく定期的な集会を望む。パンフやチラシ、活動の報告書の発行などでもいいので地道な活動をしてほしい。		
3	・ 基本構想（原案）11月の協議会の2、3日前に手元に届いた。イメージ的なもので具体的なものがない。基本計画は当日配布。見る時間もない。地域協議会では構想の審議で、基本計画、実施計画は議員さんだと言われた。議員の責任はかなりなものと感じた。病院に係る諮問がないので、委員として意見や問題提起が出来ない。市長追随ではなく議員一人ひとり責任をもってやってほしい。 ・ 国道4号線期成同盟会が設立された。水沢～前沢間の国道4号線を4車線化するのかどうか将来に禍根を残さぬよう大いに議論をしてほしい。		
8	・ 100条委員会は賛成多数でスタート。年内中の回答が2月に延びた。新聞で見る限りパッとしないものだった。税金を使ってスタートしたが、この幕切れでいいのか。議会はどのような責任を取られるのか聞きたい。特別委員会でも良かったのでは。簡単に考えたのでは。	・ 弁護士との摺り合せと纏めに時間が掛り2月に延びた。経費は増額していない。インパクト少ない報告と思ったかもしれないが、原案には様々あったが、弁護士の指導に沿ったもの。議員の中にはもっとと言う人もいた。調査の中で必要とした情報が入手できず、一定の限界があった。	
6	・ 新市立病院のコンサル委託に係るプロポーザルは、太陽光発電事業と同じ轍を踏まないでほしい。H26の改革プラン策定後に何処かのコンサルに相談している節がある。当時の新聞取材に管理者は改修に48億、新築で98億と述べている。その数字を元に誰かが100億と議会で話したものが発展している。 - 一般的にコンサルは①事業化すべきか②事業を進めるために如何するか。今奥州市がすべきことは②で進		

	めるべき。その後に規模や予算。スケジュールなどどう建設すべきかを進めるべき。プロポーザル方式が決まったということは、既に出来ている所に対して進められている懸念があるので、公明正大に進められているか、今度は議会に責任を問う。		
9	・政務調査費、必要があれば賛成するが、17.7 万円残すようでは反対する。収支間違っていないか、共産党の収支に疑問を感じた。	・江刺共産党議員団は広報費として議員共同議会報告書を全域に年 2 回配布（印刷・折込）4 人で一緒に出している。その他、政府交渉も行っており、積立をしながら調査費に当てている。なお、この制度の中では残金をみんなで使うことは出来ない。	
5	・4 号線の 4 車線化。前沢町時代に前沢と水沢のバイパスを接続するよう国と県に要望。当時の回答は①バイパスとバイパスを繋ぐバイパスはない。②10 k m を超えるバイパスはない。今は地元の盛上りが大事といわれた。大深沢にくっ付いてから運動しようとは思わない。343 号に来ないまでに変更したほうがいいと思っている。J R 線を越えるため工事費が倍かかる。大深沢でなく前沢バイパスにつないでほしい。（折居から混んでいる。）	・国道拡幅期成同盟会が花巻から奥州市の首長はじめ国会議員、県議、市町村議長、企業らで結成。これまでも国交省、財務省、国会議員、仙台の東北整備事務所、盛岡河川国道事務所等に対し 2 回ほど要望活動をしてきた。当面は 397 号と 343 号の区間を進めるとで用地買収が進んでいるので 343 号接続に焦点を絞って進めているのが現状。ご要望は精査の上当局に伝えたい。 ・みなさんから議会、議員に対し強い叱声をいただいた。今後、行政課題に全力であたりたい。 ー以上で終了。（4 時 20 分）	

第 11 回「市民と議員の懇談会」第3班報告書

1 開催月日	平成 29 年 2 月 7 日（火） 午後 2 時 00 分 から 午後 4 時 10 分
2 会場	胆沢総合支所 3 階 大会議室
3 参加者数	19 名 (内訳 男性 19 名 女性 0 名 議員・職員 0 名)
4 出席議員	班長小野寺 重.....議員 進行係阿部 加代子.....議員 説明係菅原 明.....議員、高橋 政一.....議員 記録係及川 佐.....議員 受付係菊池 利美.....議員
5 欠席議員	なし

6 報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

- ・議員自己紹介
- ・班長挨拶 小野寺重議員より
- ・12 月議会及び政務調査費についての報告 菅原明議員より
- ・奥州市の医療についての報告 高橋政一議員より
- ・まとめ 小野寺重議員より

7 反省点、次回の課題等

残念ながら参加者には、青年・女性がなく、日時の設定が難しいのは理解できますが回数を増やすなどで、もっと参加（特に青年・女性）できる機会が必要であると痛感した。

地域医療については議会でも十分な議論がなされていないことや、具体的な分析が各人によってばらつきがある。議員間の討議・学習を経てから再度市民の議論を提起したほうが良いのではないかと感じられた。

政務調査費の増額については、賛否両論があるが、議員の政務調査費の実態についての理解は前進したように思われるので、機会をみて何度か説明する必要があると思われる。

市政に関する意見は、合併の良し悪しや支所のあり方、行財政改革等、多岐に渡っており『意見として承る』との立場になった。

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第3班平成 29 年2月7日(火) 会場 胆沢総合支所 大会議室

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	●市の医療のあり方 医師確保のために奨学金を支給していると思うが現状と今後の見通しはどうか？	10 名ぐらい奨学金を受けていると思うが、調査し回答する。 県からの奨学金制度があるようだが、奥州市としても独自の奨学金制度があり、数年後には卒業し奥州市へ来る学生もいるようである。	後日回答する。
2	介護保険の医療費控除や老老介護の現状について奥州市としてどう考えているのか。 必要な施設数などを、どうつかんでいるのか。	介護費用と医療費の合算控除制度がある。 3 年に 1 回介護保険計画の見直しをしている。特別養護老人ホームについては、見直す前年度に早急に入所が必要な人数を把握し計画を立てている。	
3	市立病院の準備室は、市長部局に設置すべきではないか。財政的に設立によって無駄にならないようにすべきだ。小児科等の新病院への設置は、理想的かもしれないが、安易ではないか	要望として承る。	
4	従来と同じような病院を建設するのではなく、日本海総合病院のような新病院をめざすのが良いのでは。	意見として承る。	
5	水沢病院の財政状態はどうなっているのか。新病院の設立に関する調査にコンサルを依頼するようだが、どうなっているのか。	27 年度で累積欠損金約 49 億から 18 億円に減少したと思う。 16 億円ぐらいと思う。	
6	●政務活動費の増額 一関議会では領収書の公開している。財政力の比較では盛岡市等に比べても奥州市は弱いのに値上げとは問題である。また公開もすべきではないか。	議会だよりに記載しているように一定の公開は行っている。支出のほうが多い議員もあり、値上げによってある程度カバーができる。支出の少ない議員は返却している。	
7	具体的に政務調査費は何に支出しているのか。	山形の日本海総合病院への視察等に支出している。 年に 2 回の会報の発行に多く支出している。年 4 回発行したいが財政的には難しい。 ガソリン代等は自己負担しており、政務調査費で計上はしていない。	

8	●議会への意見要望 民間移譲の計画に上がっている『つぶ沼』のあり方やバスなどの交通手段の確保等も検討してほしい。	意見として承る。	
9	●その他 インターネット中継の画像が荒く、鮮明にしてほしい。	要望として承る。議会改革検討委員会でも検討している。	
10	胆沢総合支所の空きスペースが多いが対策はどうなのか。	支所空きスペース活用の具体的検討が進んでいる。『ひだまり会』へ貸出が進んでいる。	
11	総合支所の機能の弱体化が不安である。	総合支所機能は残すと市長が発言しており、組織は現時点では残ると思う。自治区の存廃にも関わるが。	
12	地区センターの活動費の減少、水沢中心の市政運営、それ以外の地域の切り捨て等問題であり、改善が必要である。	意見として伺う。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」第4班報告書

1 開催月日	平成 29 年 2 月 9 日（木） 午後 2 時 00 分 から 午後 4 時 15 分
2 会場	水沢地区センター 第 1 ・ 2 会議室
3 参加者数	35 名 (内訳 男性 31 名 女性 4 名 議員・職員 0 名)
4 出席議員	班長 佐藤 邦夫 議員 進行係 鈴木 雅彦 議員 説明係 今野 裕文 議員 鈴木 雅彦 議員 佐藤 邦夫 議員 記録係 今野 裕文 議員 佐藤 洋 議員 受付係 中澤 俊明 議員 佐藤 洋 議員
5 欠席議員	なし

6 報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7 反省点、次回の課題等

反省点としては、

..... 前段の説明（12 月議会のあらまし、奥州市の医療の在り方、政務活動費の件）や質問 に対する答弁に時間が割かれ、もっと質問したいと思われる方もおられたので、もう少し時間延長をしても良かった（15 分延長し 4 時 15 分に終了した。）。

..... 若い女性 1 人が質問したが、もう 1 人の方（4 人の女性の内 1 人は早めに退席）にも意見をお聴きしたかった。

..... 今後の課題としては、

①参加者全員とはいかないまでも、多くの方に発言してもらいたい

②懇談会の回数を増やしたほうが良いのではないか

③前回より参加者が多かったのは、懇談会のテーマによるものとも関係があると思われるので、話題とするテーマの公募なども考えてはどうだろうか

④意見交換を始める前に、参加議員の考えを簡単に話してもいいのではないかと（個人的な考え）

第11回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成29年2月9日(木) 会場 水沢地区センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	市の医療機関のあり方について、民間医療機関との連携をやることは前から言われてきたが、どの程度進んでいるのか。 地域医療連携はどうなっているか。 国の方針として決められた範囲で、地元地域が頭を絞らなければならないというのはおかしいと思う。国会議員、県会議員は何をしているのか。 「誰も見る人がいない時は、地域で見ろ」と言うのが可能なのか。防災計画を作っているが、面倒を見る人、面倒を見てほしい人を登録しろというのが、私の町内会では不可能だ。プライバシーを盾に拒否する人もいるがどういう風な形で行政が取り組むのか。 10数年前議員をやったが、水沢の開業医が非常に多くなった。そういう中で水沢病院の立ち位置を訪ねたが、当時の市長は、「(開業医は) 多くはない」と言い「水沢病院は水沢病院だ」と言う答弁でがっかりした。 議員がプロフェッショナルとなり、市民の前に「こういうふうにしたい」とアピールすべきでないか。 それをやれば、次の問題（政務活動費）で意見が分かる。しかし今の状態では、政務活動費はいらない（あげるべきではない）。そういう見通しを見せることが必要でないか。	医療・介護の一体改革で資料5ページを見てほしい。2次医療圏で完結する医療圏をつくろうというのが目標で、もう少し細かくわけ地域包括ケアシステムを立ち上げようとしている。現在、前沢区でモデルケースとして試験運用していると理解している。平成29年4月に始め、平成30年4月市全域で実施することになっている。本来は国基準として中学校単位で進めることとなっているが、マンパワーや個人情報問題があって難しいということで課題となっている。 江刺区は（岩谷堂に）医療機関が集中している。衣川区は1医療機関しかない。したがって、旧町村単位で進めているが、議会でも調査したが、うまくいくのか、どこまでできるのか等も見なければいけないと思う。 クリニックからベットがなくなっている。病院もなくなっている。産科・婦人科もなくなり、市内で60ベットを割っている。 新しい病院が、2次医療圏のなかでどういうものにするか明確にするのは必要なかもしれない 胆沢病院は地域連携拠点病院になっている。地域のクリニックからの紹介でないと受け入れない。胆江では胆沢病院を軸に地域連携は完了していると考える。 病院間でも胆沢病院を中心にしてドクター、薬剤師、看護師、栄養士も含め連携している。もちろん水沢病院もその中に参加している。胆沢病院は、紹介率が70%を超えないと拠点病院の指定をはずされる。 「政務活動費はいらない」と、まさか言われるとは思わなかった。	

第11回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成29年2月9日(木) 会場 水沢地区センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
2	新市立病院についての考え方について伺う。現場で意見を聞いていると思うが、かつて私は民生教育常任委員会委員長のときに視察し、一般質問で話を聞いた経過がある。視察等を活用して、専門職的部分もあるので期待する。 政務活動費の増額について、必要であると思うが、今は適切でないと思う。選挙に出るとき、このことを訴えてきたか。 私が議員になった平成3年には、政務調査費はなかった。 私は、それで図書館に行きました。いろんな資料があり、反対、賛成の立場からの意見を含めて見ました。議会に行くと新聞があるので、小さい記事を見つけては議会事務局に資料を取り寄せてもらい、お金を使わないでやった。 私の経験から言えば、できない理由を探さず、できる方法を探していくことが必要だ。政務活動費をめぐって富山県、兵庫県、宮城県の報道もあった。必ず使い切る必要があるのか。 私とすれば、厳しい財政のなかで、振興会の要望も「きびしい」と言われ受け入れられることがない。そういう中では、なんとか我慢してやるべきでないか。	情けない話に思う。土地開発公社の借金で、我々関係ない議員も、報酬の半分お返しした。 一般質問では、質問にとどめず実現することが求められる。実現するのは、市民・住民の福祉の向上です。議会は合議制で、そういう中で最大の力は条例である。その気さえあれば、最大の権能は条例をつくることであり、議会はそれができるようになっていかなければならない。自分のときは「こうだった」ではなく「がんばれ」と言ってほしい。	
3	「情けない」というのは情けない。		

第11回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成29年2月9日(木) 会場 水沢地区センター No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
4	今日は懇談会なので、否定しあったら何も進まない。今日（の懇談会で）、我々に何を求めるのか感じない。この地域の医療問題で、「俺たちはどうしたら良いのか」という不安だけ残り、議員としての何の提案もない。 地域包括ケアを有効的に機能させるために、県、市、民間の医療機関のデータを一元化した地域包括ケアシステムにしてほしいと思う。例えば、血液検査をすれば、最初に民間の医療機関で受ければ、紹介先の病院で受けなくても良い形にすれば医療費を抑えることができる。 水沢病院を建てるというのであれば、「このような機能にしたい」という、立ち位置をしっかりと示していただかないと議論にならないと思う。県立病院は、紹介制度で良いと思う。医療費をできるだけ抑える地域包括ケアシステム制度にしてほしい。 政務活動費は、世の中のことを見れば、現状維持でやってほしい。与えられる予算なので個々人で予算の管理をしていただいて、市民のために働いてほしい。	地域連携システムについて、非常に重要だと思うし、水沢病院管理者もそのように言っている。 山形の日本海総合病院でのシステムは参考になる。そのシステム利用料はクリニックで2万円、大きい病院で8万円となっている。 政務活動費は、話された富山とか宮城とか不祥事があった議会の政務活動費の金額は何十万円で違う。ちなみ岩手県議会は31万円であり、奥州市のものと異なる。 私は、こういうときほど「本当に必要なんだ」ということで提案している。 地域包括ケアシステムについては、スムーズに行くようにしたい。地域包括支援センターがどのように機能するか注視していく。 市は、建て替えではなく新市立病院をつくるのだという説明をしている。教育厚生常任委員会で所管事務調査として調査をした。その内容が16日の議員全員協議会で報告されると思う。 コンサルタントの指導を受けながら機能とか地域での役割を決め計画を作っていきたいとのことだった。 新しい病院をつくるには、専門的指導が必要だと思う。マーケティングでも指導を受ける必要があるのではないか。 問題は、「どのような業者をえらぶのか」であり、議会でも注視をしたい。 データベース化については、県立病院のデータを軸に一括管理する構想があるようだ。民間機関にはまだ難しいところもあると思うが、地域包括ケアシステムの中で進めたい。	

第11回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成29年2月9日(木) 会場 水沢地区センター No.4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
5	昨年11月19日の地元紙の記事で、議会全員協議会で、鈴木医療局経営管理部長が説明した内容を大変詳しく載せている。 それによれば、今年中に管理者を委員長とする新病院基本計画策定委員会を立ちあげる。今年度中にコンサルを選定する、と報じられている。着々と管理者を中心とするメンバーで進められているのではないかと 危惧をもって尋ねる。柏山管理者が委員長、副に教育長と病院長、委員は関係部長、医師、看護師だとされているが、このメンバーでつくる基本計画には反対である。 もう少し広く、胆江医療圏を考えるなら、県立病院の2つをどうするのか。脳外科、産婦人科のことも考えなければならぬ。そういうふうに考えるならば、計画策定委員会を見直してほしい。メンバーから考え直していただきたい。市医療局のメンバーで走らせるのは困る。 資料の3ページ（2）に「市立病院は公立病院として地域に不足する医療に積極的に取り組む必要がある」とある。 もっと、統合とか、大きく考えていくことが必要である。結論としては、議会だよりに掲載されている議員の一般質問で「検討委員会を市長部局に立ち上げるべきだ」という意見に賛成だ。	11月19日に説明を受けたが、議員全員協議会では様々な意見があった。 （市当局からは、）素案の前の段階として、これで進めたいという説明であったという風に理解している。 2月16日の議員全員協議会にどこまで説明があるかわからないが、今のところコンサルを選定するというところで、決まったものではないと理解している。 県と国との問題では、次の段階のこととして区別して考えなければならないのではないかと思います。策定委員会とは別のものとして考えるべきと考える。 あくまでも新市立病院としての計画であり、県立病院との統合ではないと考える。	

第11回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成29年2月9日(木) 会場 水沢地区センター No.5

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
6	地域医療について、市立病院とか周産期医療センターのことが必ず話題になる。出産はちょっとリスクがあると、一関、北上に行かなければならない。県全体で考えると沿岸、県北、遠野も「たいへんだ」というのは分かっている。分娩は水沢2件、江刺1件になっている。市立病院、周産期医療センター、セットで言われるが打開するのは個人的には難しいだろうなという気持ちはある。 議会で、陣痛の際にタクシー代の助成というのがある、考えているのだと思う。踏み込んだことを言っているなどと思う。タクシー助成あったらありがたいが、バンバンお金を出すのは抵抗があって、子どもたちに借金をさせるのは心配だ、それなら別の支援の仕方があるのではないかなと思う。妊婦はとにかく不安でしかたない。助産師、保健師に不安な気持ちを気軽に、話を聞いてもらえる方策を考えてほしい。 地域包括ケアシステムについては、子育てと一緒に介護もしていて、サービスを受けてきたのでケアシステムができればよいと思う。私も協力していきたい。 もうひとつ子育て世代に対する包括ケアシステムができるという話がある。ダブルケアをしている人にとって、別々では無理があるので、これを一緒に融合させることが先々必要と考えている。 政務活動費について、ホームページを見ると、いつも懇談会の参加者に、女性、若い人が少ないと書いてある。市政に全く関心をもたない私たちもいけないと思う。きちんと目を向けないといけないと思う。 調査研究のところに私たちが向くように、議員に関わってもらふことが必要だ。待機児童の問題でも、若いお母さん達に「議会で言う手段もある」と言ったけど、そこに向かない。 皆に議会への関心を持ってもらいたいのので、どうしたら良いか、アドバイスをいただきたい。	若い人に来ていただきありがとうございます。その通りだと思う。かつて若い人、女性のグループを招いて懇談会をやった。また、前に子どもの権利条例をつくるときに、子育て世代と何回となく話し合って進めつくった。 これからも、若い方、女性の方、世代別に絞った懇談会を開きたい。また何人か集まったら、議会事務局に言って議員を呼んでほしい。 今の意見を持ち帰って検討したい。周産期センターは、ここが肝だと思う。県会議員等に働き掛けている。何とかしたいと考えている。	

第11回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成29年2月9日(木) 会場 水沢地区センター No.6

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	政務活動費は、今（増額を）要望するのは、タイミングが悪い。どうしても上げたいのであれば、報酬を上げることを求めるべきだ。 100条委員会について、（地元紙に）「議会も反省すべきだ」と書いていた。指摘した議員も、胸に手を当てて反省すべきだ。	どうしてタイミングが悪いのかなと思う。各地の不祥事や「財政難」ということかなと思うが、本当にそうなのか。職員の給料は0.17%毎年上げている。これが8,900万円。議会の活動費を上げてほしいというのが500万円である。 議員報酬についても、上げることを決めている。合併時からカットされている1割をもとに戻すということで、新しい議員から上げるということになった。 奥州市の議会費は、0.4%で、普通の議会は、0.5%以上で、北上市は0.7%である。若い人、女性に議会に入っていたきたいということで、私は一身に批判を受けて頑張っている。 発言はごもっとも。私たちも、勉強すべきことは、あったと思う。これからは、それを当然、自覚して進めていきたい。逆に皆さんに、その点、注意して見てほしい。	
8	新聞の投稿に「一律ではなくかかった費用で支払えば良い」とあったが、これは議員個人の意見なのか。	「かかった費用だけで良い」とは書かなかった。「使った分は受け取り、使わない人は返せば良い」ということで、これからは、持ち帰って、後払いという方法も含めて考えたい。	

第11回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成29年2月9日(木) 会場 水沢地区センター No.7

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
9	議会広報の6ページの一般質問記事で「市立教育施設再編計画について」を取り上げている。保護者に公立と私立の選択する権利を残すべきだと言っている。説明会では、「必要なところに作るという。子供により良い環境を作る。」「公立と私立に差はないので支援する」というものだった。 「平成32年から平成37年の間に公立の幼稚園は全部壊すのだ」ということだが、「耐用年数がきたから、壊すのだよ」というのでなく、公立と私立幼稚園を保護者が選択できるようにしてほしい。毎日、街中へ送り迎えするのも大変だ。そういう実態があるので（佐倉河だけは）残してほしい。	そういう要望があったと、議会で発言していきたい。	
10	残土問題について教えてほしい。100条委員会で解明できなかったことがあると思う。開示されなかったと思うが、何故明らかにできなかったのか。	情報公開には条例があり、審議会が判断する。議会として要求し、また議員として個人的にも要求したが開示されないということだった。公開に基準があり、委員会として再度求めたが、審査会で（開示は）ダメとなったものだ。	
11	100条委員会は全会一致で結審した。「限りなく黒に近い灰色」の結審で「市長の責任」という報道がされている。「市長の責任」というのは、どういう範囲なのか。市長に辞任を求めるのか、損害を賠償させるのか、部下を処分させるのか、どうするのか。	非常に難しい問題だ。報告通りですので、どういう受け止めをしていただいたのか市長の判断だ。私の方から、どうのこうのとは表明できない。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」 第5班報告書

1 開催月日	平成 29 年 2 月 9 日（木） 午後 2 時 00 分 から 午後 4 時 29 分
2 会場	衣川保健福祉センター 多目的ホール
3 参加者数	16 名 (内訳 男性 12 名 女性 3 名 議員・職員 1 名)
4 出席議員	班長 内田和良 議員 進行係 佐藤郁夫 議員 説明係 菅原由和 議員、菅原圭子 議員、藤田慶則 議員 記録係 菅原由和 議員、藤田慶則 議員 受付係 菅原圭子 議員 佐藤郁夫 議員
5 欠席議員	なし

6 報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7 反省点、次回の課題等

(1) 終了予定時間を 30 分超過するほど、参加者全員から多くの発言を頂き、大変有意義な懇談会であった。

(2) はじめに参加者に対して発言をする上でのお願いをしていたものの 1 人で 5 分を超過する方や、1 人で 3～4 回発言される方もおり、ある程度内容をまとめて発言をして頂くように進行係において進行上の配慮が必要であった。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	医療問題に関しては、これまで急性期や慢性期等の医療機能別の資料ばかりが出されてきた。しかし、以前から市に対して、診療科目別の医師の過不足等が分かる資料が欲しいとお願いしている。 この地域では特に産科医が決定的に不足している。診療科目別の医師の過不足がなぜ発生しているのか、医師はどういう病院や医療圏であれば働きたいと思うのか等を突き合わせていかないと問題は解決していかないのではないか。議会でも調査をお願いしたい。	若い医師は、最新設備があり指導力がある先輩医師がいるところ等、魅力のある病院に研修に来ている。魅力ある病院づくりの方向性について議会でも真剣に議論をしていかなければならない。 診療科目別の調査についても進めてまいりたい。	回答要 (No.15 関連)
2	新病院を建設するにあたり代替案の検討をお願いしたい。以前、民間で有名な先生を呼んで講演をした際に、県立病院、市立病院、民間病院、大学が協力して医療センターをつくる方がベストではないかとの話があった。そのような代替案について議会でも議論をして欲しい。	意見として伺う。	
3	医師の偏在は日本の構造的な問題である。魅力ある病院でなければ研修医は集まらないとの話があったが、良い施設となれば建設費や設備費は掛かる。しかし、将来的に人口減少になり、高齢者人口もある時点から減少していく。 そうした中で、市立病院を療養型に特化したにしてもいずれは空きがでてくる。個人病院も後継者がなく閉院している状況にもあり、患者もいなくなり後継者もいなくなるとなれば、今、新しいハコモノをつくるのが本当に良いことなのかを考えなければならない。 ある一定期間は充実した医療が出来るかもしれないが、将来的に負の遺産になってはならない。何十年後も生き残っていける病院なのかを考えた時に、先ほど話のあった一つのセンターという形で、施設の整った優れた医師の集まる病院をつくる方がいいと思う。	意見として伺う。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
4	政務活動費は、全国どこでも年間一括で支給されているが、そのことで色々と問題が発生している。 インターネットで情報公開するとか、後払いにするとかも含めて検討されては如何か。	議会改革検討委員会で議論をしている。 意見として伺う。	
5	勉強している議員も多く、政務活動費をもっと上げたい気持ちはある。 政務活動費は意外と様々な請求をしたり現地を見たり重要な仕事があることから、政務活動費には賛成する。価値ある仕事をして欲しい。 政務活動費は議員の印象は良く与えないと思っていたが、今までの1万2千円は少なかったと思っている。もっと勉強して訴訟を起こさないように市民のために活動して欲しい。	全国で起きている事例は当議会には無い。議会事務局に指導を受けながら間違いなく報告をしている。 意見として伺う。	
6	100 条委員会は、結局何も証明することが出来ず、報告で終わっている。議員の一番権限のある 100 条委員会を何故容易く立ち上げたのか。このような結果であれば 100 条員会は必要なかった。議員の認識が甘かったのではないか。	意見として伺う。	
7	過去に競馬場の問題、土地問題、病院の問題もあり、現在は、胆沢中学校の問題をはじめ市で訴訟を2つ抱え、その他にも問題を抱えている。そうした中で、今、政務活動費のことを出されると、正直、政務活動費が足りなかったからこのような問題が出たのかと言いたくなる。試算をしてみると政務活動費は本当に足りないと思うし、必要な位出してあげればいいのかと思うところもあり、増額に反対するわけではない。 しかし、今の問題がある中で増額を出されるとどうなのかなと思う。問題がきちんと解決してから増額をした方がいいのではないか。 また、領収証をごまかす等、不正のないようにして欲しい。	意見として伺う。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
8	懇談会資料 2 ページの表 2 に、平成 23 年度から 27 年度までの「1 日平均入院患者数及び病床利用率の推移」があるが、水沢病院の開院時の状況は分かるか。	後日回答する。	回答要
9	水沢病院を 5 年後に建て替えるにあたり、合併前からでも立て替えが必要であれば、当然基金というものがあるはずだが、その基金が今どれ位になっていて、どのような処理をされているのか。	後日回答する。	回答要
10	水沢病院は開院当時から赤字だったというのは、少なくとも今より人口が多い中で、経営的に何かおかしいところがあったのではないか。 人口が減少してきている中で、周辺に色々病院も出来ているので、今、水沢病院にこだわる必要はないのではないか。	意見として伺う。	
11	懇談会資料 3 ページの「胆江医療圏の人口推移」では、胆江医療圏の 75 歳以上人口は増加からほぼ横ばいが見込まれているとのことだが、保健所の運営委員会の資料では、県内は盛岡だけ横ばいでその他は減少すると見込まれていたもので、この資料は間違いではないか。	先日、医療局から説明を頂いた国立社会保障・人口問題研究所の資料では、75 歳以上人口は盛岡以外では横ばいか減少傾向にあるとのこと。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
12	胆江医療圏の中で不足しているのが高度急性期であり、今不足している産科が新しく出来れば問題が解決するということではない。胆江医療圏の中で全てを賄うことができればいい。大きな事故が起きても 20 分以内であれば助かる可能性も高い。 水沢病院の老朽化によって建て替えの話が出ていますが、全体的な人口が減少している中で、医者になる数も減っていくと考えた方がよい。 県立も市立もどちらも医師不足の中で病院を二つ併せれば、0.5+0.5 で 2 になるかもしれない。統合は考えられなかったが、釜石の例もあるし、日本海病院は研修生も多く集まり成功事例だと思う。研修医が多く集まるような胆江医療圏を構築して欲しい。 水沢病院の建て替えで名前だけにこだわるのではなく金ヶ崎も含めたオール奥州で考えて、余計なお金を掛けしないで高度急性期医療が受けられる魅力ある医療構想をつくって欲しい。 議会としても十分に検討をして欲しい。	北上と一関医療圏の間に挟まれて、胆江医療圏が薄くなっているような状況にもあるが、医療の充実を何とか取り戻したいと強く意識している。 新市立病院建設にあたり、議会に特別委員会を設置することという陳情が出されている。継続審査になっているが 3 月議会で設置するか議論をする。特別委員会が設置されればこの中で検討をしていくことになる。	
13	水沢病院の耐震が弱いと聞いているが、のんびり考えていいのか。入院している人も不安に感じていると思う。閉鎖しなければならないのではないかと心配しているが議員はどう考えるか。	議会でも安全をどう確保するのか、補償をどうするか等の質問も出されているが、明確な回答はない。今後も議論しておかなければならないことである。	
14	No. 1 に関連 人口動態に対しての適正な医師数がどれ位で、それに対しての現状数と過不足がどれ位なのかを明確に分かるような資料で示して貰わないと判断ができない。	後日回答する	回答要 (No.1 関連)

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.5

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
15	議会だよりの中で、新市立病院建設について「唐突とも思える・・・」との話しをしている議員がいるが、この間、ちらほら話題にはなっているが、議員は勉強不足ではなかったのか。	以前から建設の話はあったが、今回、総合計画の基本計画で建設すると謳っており、また、5年後には完成等というスケジュールも示されていなかったことから、唐突としたものと思う。	
16	新病院建設準備室を設置したとのことだが、ここの職員は病院経営に精通した者だけだとすれば、それはおかしいのではないかと思う。 今は予防医学の方が重点であるべきで、病気になってからの対応だけでは医療費が益々増加すると認識している。病院建設の段階から広く予防医学の視点に立ち、見識の高い職員を配置して検討していくべきではないか。これは時代の趨勢だと考える。	予防医学は、病院というよりは市の政策として考え、医師も関わってもらいたいということも必要ではないか。 予防医学は重要だということは議員一人一人認識していると思う。	
17	議員はもう少し前向きに研究調査活動を深められた方がよい。出されたものだけ対応するでは意味がない。 政務活動費の収支報告を比べてみると、議員個人間で支出のおうとつが激しい。項目によっては 2,000 円とか 1,000 円ちょっとの支出もあり何と情けないことかと感じた。 政務活動費は月 1 万 2 千円では、いささか少なすぎるのではないかと思う。特に広報費や広聴費の額的に見れば少ない。市民に対する報告や意見を聞く機会が少なかったのではないか。増額には賛成するが、使途についてはもう少し工夫をして欲しい。	額の多い少ないは議員個々の活動であり、バランスをとっているものでもない。 また、議員によっては、支出をしても収支報告に計上していないものもある。	
18	農業の担い手がいないという農家が増えてきている。飛躍的な考え方かもしれないが、担い手を増やしていくことも病気予防の一つではいか。 交通の便がいいところに住むのも一つの方法かもしれないが、生まれ育ったところにいたいというのは誰もが持つ感情ではないか。そういった意味での医療の体制を考えてもらい、生まれ育ったところで看取ってもらえる奥州市にして欲しい。	意見として伺う。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.6

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
19	懇談会資料の中に、10 年後の胆江医療圏の必要病床数等があり、病院については今後の人口動態を考えた上でとのことだと思うが、将来 20 年、30 年後、次の世代まで新病院を如何に有効に使っていくのかということをも十分に検討して欲しい。 また、新病院をどこに建設をするのかが衣川に住む者にとっては非常に気になるところ。車を利用しないと病院に行けない人も増えてくる。議員も議論して貰い、安心して行けるアクセスの良い場所を選んで欲しい。	意見として伺う。	
20	政務活動費については、今回 3 万円の要望をしているが、3 万円がいいのか 2 万円がいいのかは分からない。まずは近隣の市と併せるのがいいのではないか。	意見として伺う。	
21	地域自治区の問題は、調査特別委員会を設けているようだが、存続廃止が議員の中では拮抗していると聞いている。衣川区では区を無くしてほしくないというのが強い要望である。	議員をグループに分けて討議を行った。討議結果は公表をしているが拮抗している。今後全体で討議し 3 月議会で決めていきたい。意見として伺う。	
22	百条委員会は、拳を振り上げたがどこに下ろしたらいいのか訳の分からないような結論を出したようだが、これについて議員はどう考えているのか。	結果は告発には至らないが、市長に責任があり、市に対して損害を与えたということ。今後、市(市長)がこれを受けてどうするかということになると思う。3 月議会でも議論になると思う。	
23	病院建設の問題は、市だけの問題ではなく医師会とも連携を取り将来像を描いて欲しい。執行者側は年に 2, 3 回懇談をしているようだが、議会として懇談をしているような話しは聞いた事がない。議員も医師会と連携をとり進めていくべきと考える。	意見として伺う。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.7

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
24	2 年ほど前に南股地区での議員懇談会で I L C 誘致についての話を聞いた。いつもきれいな言葉ばかりを聞いているが、マイナスのことはないのか。 例えば、山を掘ることで水の流れが変わったりする等、山で生活している者は困る。	これまでそのようなマイナスの話は聞いていない。今後、そのような視点も意識しながら、マイナス面があるとすれば、どのようにクリアしていくかも含めて考えていきたい。 今後、実際に建設となれば環境調査も入ってくると思う。まだ、具体的な説明は受けていない。	
25	I L C が来ればお金が入るといいうが、建設するときにお金は掛からないのか。 また、いつ誘致が決まるのか。	建設費や建設費の負担、現在の状況等について説明。	
26	新市立病院については、第 2 の水沢病院になってはダメだ。今後、人口減少もしていくことから、先ほども話しがあったように、例えば医療センターのように単独でやるものではない形で検討をして欲しい。	意見として伺う。	
27	自治区の存廃については賛否拮抗していると聞いている。私は本来は奥州市一つで自治区は無くてもいいと思っている。しかし、そこには経過がある。 行財政改革の名の下に、これまで区が大事にしているものを一番先に切っていくというような取り組みをしてきている。これらを守っていくためには自治区は必要で無くしてはダメだ。 地域の個性が光輝く・・・と言葉では謳っているが、地域に光が当たらないように逆行して物事が進んでいるように感じる。議員にもその辺を肝に銘じて欲しい。	意見として伺う。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.8

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
28	ニュージーランド村が閉園になるが、これまで観光資源として活躍してきた。市長は、進出する企業があれば応援していきたいというような主旨の話をしていたが、あればではなく、積極的に引っ張ってきてもらいたい。 衣川は人口の流れも少ないので、議員にも政務活動費を活用した調査をしながら、積極的に引っ張ってきてもらうような活動をして欲しい。	意見として伺う。	
29	2016 年 12 月 9 日の胆江新聞に、柏山病院事業管理者の議会での発言が出ていた。「水沢病院の担っている機能を維持し、胆沢病院に多く依存している緊急対応の状況を是正しなければならない。」と話している。是正という言葉が辞書で引いてみたが、自分たちの力もないくせに、胆沢病院に救われているから是正しなければならない、そんなことで病院を建てるのか。議会で間違った発言をしているのではないか。	意見として伺う。	
30	恵まれた場所に住んでいる方はどこまでも恵まれていると思う。市の中心ではなく周辺部に住んでいる、交通をはじめ色々な面で弱者に目を向けて、そこから物事を考えてもらえれば不満は無くなってくるのではないか。 ぜひ、今後の政策と議会の活動に重点を置いて頂けたら幸せなことだと思う。	意見として伺う。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.9

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
31	単独での水沢病院の建設には反対だ。総合計画審議会の第2分科会を担当した。余裕があればいいが、今、市の財政は困難な状況にあり色々な施設が閉鎖されている。一番の問題は人口減少で、資料3ページの胆江医療圏の人口推移の数字は甘い数字だ。人口減少する中、医師のなり手が少なく上物を建てても中に入る人がいないので、これはしっかり話し合うべきだ。 建設ありきではなく、建設できるかどうかを話し合うべきだと分科会では意見が出された。その時、市長の考えは、同じ検討でも建設することを前提にした検討であると記憶している。委員の中には総合計画から切り離すべきだとの意見も出されたが、計画に載っていないから建設ができないことでもない。医師や人口をきちんとした数字をもって将来を見据えるべき。 県立と市立が統合できる時代なので、より充実させるために統合も含めた話し合いの中で建設をするのであれば賛成するが、単独で建設ということであれば反対である。	意見として伺う。	
32	病院建設については、市長が建設に前向きということは、建設場所は水沢に建てたいということだと思う。議会だよりの私もひとことに、衣川区の方が前沢・衣川に建設してはどうかという意見もある。 もし本当に建設することが正しい税金の使い方だと決断をして建設するのであれば、医療の公平性ということも考えないと、水沢だけに病院が集中するということはあってはならないことだと思う。 資料の3ページの中にある県医療構想において、胆江医療圏の説明として、新市立病院は公立病院として地域に不足する・・・と書いてあるが、これを理由として新病院を建設するのであれば、話しは逆ではないか。	意見として伺う。	

第 11 回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成 29 年2月9日(木) 会場 衣川保健福祉センター No.10

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
	また、1 ページの胆江医療圏の状況に病床種別があるが、公立病院は色々な意味で転換は難しいのではないか。しかし、私立の病院であれば病床の変更はできるのではないか。その時に、新病院が予定をしている患者がくるのか。10 年後にどうなっているか分からない。県の医療構想でもって、不足するところに建設するのだからいいのだということにはならないと思う。本当に税金を使っているのか、ゼロからスタートし撤退もやむなしということで十分に考えて欲しい。		
33	病院の県と市の統合やセンター化は無理だと思いこんでいたので、以前、病院建設については立地のことを考えてという意見だった。しかし、最近県と市の統合やセンター化をすべきだという意見である。 その際、市の姿勢としてお願いするだけではダメだということを議員にも考えてもらいたい。 病院を単独でも建設してもいいというかなり無理な考えもあるので、お願いするのではなく、水沢病院を辞めるにあたって奥州市ではこれだけの支出を覚悟しているので、新しいセンターを一緒にやろうという姿勢で臨んで欲しい。県も財政が厳しくお願いばかりでは話が進まないと思う。身銭を切っても一緒にやろうという姿勢で臨んで欲しい。	意見として伺う。	
34	財政が厳しい話ばかりで市民は収縮してしまう。遊んでいる動産や土地等の財産が相当あるのではないか。いつも切り詰めろということだけでは夢も希望もない。議員はその辺の突っ込んだ精査をして欲しい。	意見として伺う。	







2017 奥州市議会

～議員26名が5班に分かれ、各会場を担当します～

市民と議員の懇談会

奥州市議会は、平成21年9月制定した「議会基本条例」に基づき、「市民の意見を市政に反映させる」「しっかりと討議する議会」「市民に開かれた議会を目指す」を議会活動の3つの柱とし活動しております。

この市民と議員の懇談会は、市民が議会を身近に感じてもらうために開催しているもので今回で11回目の開催となります。

当日は次の内容により開催しますので、多くの皆さんの参加と貴重なご意見・ご提言をお待ちしております。

～どなたでも、好きな会場に参加できます～

懇談テーマ

「奥州市の医療のあり方について」

サブテーマ「政務活動費の増額について」



- ・12月定例会の報告
- ・議会に対する意見要望、地域における諸課題等

月 日	時 間	班	会 場
2月7日 (火)	14:00 ～ 16:00	1	江刺総合支所1階 多目的ホール
		2	前沢総合支所4階 401大会議室
		3	胆沢総合支所3階 大会議室
2月9日 (木)		4	水沢地区センター 第1・2会議室
		5	衣川保健福祉センター 多目的ホール



昨年二月に開催した様子



主 催：奥州市議会市政調査会

問合せ：奥州市議会事務局〔電話24-2111(内線612)〕

↓ 班編成

【1班】 ・2/7(火) 江刺総合支所



千葉敦(江刺区)



飯坂一也(前沢区)



小野寺隆夫(胆沢区)



千葉悟郎(水沢区)



渡辺忠(胆沢区)

【2班】 ・2/7(火) 前沢総合支所



廣野富男(江刺区)



千葉正文(水沢区)



加藤清(胆沢区)



中西秀俊(江刺区)



及川善男(水沢区)

【3班】 ・2/7(火) 胆沢総合支所



菊池利美(水沢区)



及川佐(江刺区)



高橋政一(胆沢区)



阿部加代子(水沢区)



菅原明(衣川区)



小野寺重(前沢区)

【4班】 ・2/9(木) 水沢地区センター



鈴木雅彦(前沢区)



佐藤洋(水沢区)



中澤俊明(水沢区)

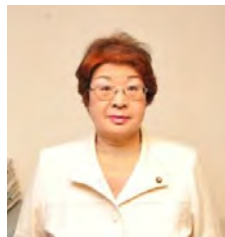


今野裕文(胆沢区)



佐藤邦夫(江刺区)

【5班】 ・2/9(木) 衣川保健福祉センター



菅原圭子(前沢区)



菅原由和(水沢区)



佐藤郁夫(江刺区)



藤田慶則(胆沢区)



内田和良(水沢区)